

平治宿・屋根ペンキ塗替えと持経宿・薪作り

◇実施日 平成26年11月15日(土)～16日(日)

◇参加者 川島 功、沖崎吉信、児嶋道夫、青木宏充、

梶野照雄。以上5名。

他6名；亀の子会(高田会長、橋本事務局、  
女性：竹本、中西、赤井)、塩川真武。

前日、亀の子会から平治宿に行くのなら同行させて欲しいと  
申込があり歓迎了承する。又、昨晚になり梶野氏も急遽参加す  
るとの連絡があり、参加人数も増え内心ほっとする。

児嶋さんの1屯トラックに川島が同乗し、待合せ場所の池原  
公園に着くと、亀の子会2台に会員5名と同乗の沖崎氏及び青  
木、梶野車が既に到着しており。児嶋、梶野、亀の会1台に分  
乗し池郷林道へ。

途中、間伐材集積地の残材・杉丸太を持経宿の薪材にするた  
め、児嶋氏のトラック荷台の空いている所に積込む。

週半ばから今期一番の冬型気圧配置になり、東北・北海道で  
は積雪が続いているが、西日本では冬型がゆるみ移動性高気圧  
に覆われることから風は無いと思っていたが、稜線の持経宿に  
着くと北西の季節風が強い。

平治宿の水場が使えないと思われ、持経宿に戻り宿泊する事  
にして、小人数でもありと各自ヘッドランプとペンキ塗り作業  
に必要な材料を手分けして担ぐ。

今回、大川(沖崎)酒店常連客のイナバ塗装さんからペンキ1  
缶(ライトグリーン)を寄贈頂き、ペンキ塗り用具調達のご指導  
と事前にシンナーでペンキ濃度を調整して下さった。

不動堂にて橋本さん導師で「峰中安全・作業安全」を祈願し  
て般若心経を唱え勤行。千年檜・祠前で自己紹介する。



不動堂で勤行 千年檜・祠前で紹介 第1次刈峰行地で亀の子会

亀の子会の高田会長は、玉岡前代表が山登りの師匠であり、  
橋本梓氏は、昭和51年に三井寺が奥駈修行の際、当時立掛け  
小屋だった平治宿で玉岡前代表、先日故人となられた戸石さん  
達と支援され、新宮山彦ぐるーぷ発足時に在籍された方で、平  
治宿には38年ぶりに訪れるので楽しみとのこと。

両氏とも当ぐるーぷの活動に関われた方であり、南紀の狭い  
地域では会員減少が避けられず、今後お互い支援・協賛してゆ  
きたいものだ。

思ったより木枯らしが強く、ブナ等の広葉樹は落葉し、吹き  
溜まりの落葉をカサカサと踏みしめる音に、冬季到来の風情を  
実感する。又、霜柱が溶けて濡れた箇所が見られ、前日、前々  
日は相当冷え込んだ様だ。

平治宿に10時半着。亀の子会の皆さんには、ペンキ塗り作  
業の下準備もあり、先に転法輪岳山頂へ登って貰う。  
早速、転落防止のため屋根の煙抜きと南側の立木にメーンロ

ロープを張り、このロープに数本の小ロープを結わえ、手で掴んだり腰に結わえたりする安全帯とする。

児嶋・川島は、煙突を抜いた腰板に平トタンを張るため、平トタンに煙突径の穴明けと打付け及び煙突の延長(直角継手+45cmの直管)作業をする。



屋根のさび落としと箒で掃き落とし

煙突取付・延長作業

梶野・青木・沖崎氏は、ワイヤーブラシ等で波板トタンの錆び落としと箒で掃き落とす作業。

煙突の直角継手の径は、120mmで設置煙突は115mmの為金切鋏で切り込みして径を小さくし嵌め込んだが、嵌め込みが少なかったのか、屋根上から継手を落下させた。あっ！との声と共に東側斜面を約100m落下してどうにか止まった様だ。沖崎氏拾いに降りて下さる。作業者が落ちると同じ様に転落する可能性があり気を引き締める。

煙突を固定金具で固定し終る頃には、屋根さび落としの人数が増えている、転法輪岳から戻られた高田・橋本氏が手伝っておられ、さび落としはもう直ぐ終わると頑張つて下さる。お陰で作業がはかどったが、12時を回って平治宿内で昼食。

寒い風が除けられ、煙突完成のストーブに点火し暖かい。



平治宿内で昼食・談笑

昼食中、堺市の青年二人が、池郷林道ゲートから歩いて来た、今夜持経宿に泊まるが、これから行ける所まで行って戻るとのこと、俱利伽羅岳まで行って早く戻りペンキ塗り作業手伝うと、同宿になるので夕食時良い事があるよと見送る。

13時、屋根のペンキ塗り作業開始。亀の子会の方に池郷林道ゲートの鍵を手渡し、下山して行かれた。

梶野氏は、調合ペイントはシンナーで薄める必要なしと判定して下さる。

梶野・沖崎・児嶋・川島は、波板用ロール刷毛と平刷毛で南側端からペンキを塗る。青木氏は便所屋根の錆び落とし。

梶野氏持参のロール刷毛は、1.6mに延長出来る柄付刷毛のため、腰を屈めることなくトタンの端から離れて塗れるので、安全・作業性も良い。又、波板用ロール刷毛は、新宮地区のホームセンター等の店頭には売っていない、プロが使う刷毛しか調達できず3千円強と高い。梶野氏の刷毛ロールは、800円と安く使い捨てが出来る利点がある。今後、大阪地区の会員に調達依頼をしたい。



ペンキ小分け 平治宿屋根のペンキ塗り 便所屋根のペンキ塗り

棟の平板トタン部は、平刷毛で塗る。波板トタンは平刷毛でも塗れるが、高価だが波板用ロール刷毛は能率が良く均等に塗り易い。玄関屋根、便所屋根(梶野氏塗布)・物置屋根と南側ハフに青木氏がペンキを塗り終え、ペンキ塗替え作業が終了する。手伝って下さる人が増えたお陰で予定より早く終了出来た。尚、7リットル容器分のペンキを使用した。1リットル容器分未使用。



ペンキ塗り作業終了 屋根塗替えた平治宿 屋根塗替えた便所

平治宿からの帰路、頭上高さに倒木があり処理するが、鋸を持った児嶋氏が先行していたので、残った人で力任せに枝を

折り道横に除け様としたが、結局処理出来ない。

千年檜で待機していた児嶋さんに預けた鋸を持ち、青木・児嶋・川島が倒木処理に戻る。鋸で径10cmの枝を切ると難なく道横に移動処理出来た。やはり道具は上手く使うべきと納得。

この間、沖崎・梶野氏は、夕食等の準備に先行する。10分遅れで持経宿に戻る。

宿泊者が1名場所を確保している。前鬼から来た塩川真武(大阪市・船窪小屋で時々アルバイト)君で、持経宿の玄関前が落葉の吹き溜まりになっており、掃き集め処分を手伝わせる。

平治宿を昼食時通過した2人は、17時前に持経宿に戻る。行仙岳迄行って戻って来たとのこと、なかなかの健脚だ。堺市の2人(殿村猛、楽満勇)は、中八人山を明日往復するとのこと。

児嶋さんはバッテリー持参して下さり、LED照明の下でモツ鍋の夕食、ペンキ塗り作業無事完了を祝して乾杯。

ビールが少なく、同宿者にビール1本を振舞ったが、塩川君は飲まない、2人連れば鍋料理でビール持参しているとの事。

次第にうち解け照明近くに集まって懇親会となる。明日6時発の人も居り20時就寝。



モツ鍋を囲んで懇談

一般登山者

夜半には風も止み、小屋周りの広葉樹は落葉したので梢越しに澄み切った夜空が広く見渡され、オリオン星等の星空が本当にきれいだ。

早朝気温2℃、室温8℃だったが、トイレに行った人がストーブに薪を入れたお陰で暖かく良く寝られた。

6時前出発の中八人山へ行く二人連れを見送り、夜明けのコーヒー。昨夜のモツ鍋に生ラーメンを入れて朝食。

塩川君は前鬼へ歩かず、青木氏に前鬼ゲート前に駐車した車まで送ってもらおう事になり、我々の作業を手伝う事になった。

間伐材集積地の残材箇所が4箇所あり、トラックで薪材運びに児嶋・塩川・川島がたずさわる。この間に梶野・青木氏が昨日運び込んだ丸太残材を鉄楔で小割し薪作り。沖崎氏は、便所の汲み出しをして下さり、150杯汲み出したとのこと。

トラック2車分の丸太残材は、行者堂の横に積み上げた。

今回、チェーンソーで切らずに小割り出来る丸太残材を運んだが、少し長めの残材等はトラック約2車分残っている。薪も補充出来たので9時半過ぎに作業を終え下山帰宅。



モツ味のラーメン美味い！ 下山前の集合写真

## 行動タイム

11月15日(土) 晴一時薄曇り

新宮 6:50→8:15 池原公園 8:25→9:15 持経宿 9:30→10:30 平治宿  
↓さび落し・ストーブ煙突調整→12:05 昼食→13:00 ペンキ塗り  
14:50→平治宿 15:10→16:20 持経宿。

11月16日(日) 快晴。気温2度、室内8℃。

起床 6:00→朝食→7:40 薪材運搬。薪作り・便所汲み出し作業→  
持経宿 9:40→10:35 池原公園 10:40→12:15 新宮

## 寄贈品

- ・イナバ塗装；ペンキ14<sup>リットル</sup>(7<sup>リットル</sup>ポリ容器2)。
- ・松本吉殖；平トタン。 ・沖崎吉信；雨水貯槽の蓋(風呂蓋)
- ・川島 功；煙突(直角継手+45cm直管)
- ・亀の子会；清酒「熊野三山4合瓶」1本。

(記 川島)